

# 【検査報告書】

平成●年●月●日にご依頼頂いた検査の結果は次の通りです。

株式会社 ピコイ神奈川

検査担当者: 斉藤寿

神奈川県藤沢市長後1210

TEL 0466-43-0789

検査名 同定検査

検体 住居内で見つかった虫 (写真 1-2)

検査方法 実体顕微鏡による形態観察

## 検査結果

コウチュウ目(鞘翅目)カツオブシムシ科

ヒメマルカツオブシムシ(学名: *Anthrenus verbasci*) の幼虫である。



写真 1 (目盛1mm)



写真 2 (目盛1mm)

## *Anthrenus verbasci* について

幼虫は動物質の繊維や角質を食う害虫で、毛糸や絹などの衣類、毛皮製品、動物や昆虫の乾燥標本、剥製などを食害する。これらを食害するのはカツオブシムシ類全般に共通し、同様に家庭内の害虫となる種は他にもいるが、それらが動物質のみを食料とするのに対し、本種の幼虫はセルロースを利用することが出来るため植物質の製品にも被害が及ぶ。古くは製糸工場で繭に被害が出るなど、生糸産業での重要な害虫とされた。

年一化性で、幼虫で越冬する。3-4月に蛹となり、終令幼虫の脱皮殻の中に収まる。20-30日で羽化し、成虫は約10日間その場にとどまり交尾と産卵を行う。その後に野外に飛び出し初夏に花粉などを餌とする。白い花によく集まり、マーガレットなどには頻繁に見られる。成虫の寿命は30-50日。卵は一雌あたり20-100個に達し、餌の間にばらばらに生み付けられる。幼虫は翌年の春まで6-8回、時に10回の脱皮をして成長し、その期間は300日を超える。

以上